

# シリーズ Q 防犯

## 防犯意識を高め、 楽しい夏を過ごしましょう

### ◎防犯標語 「いかのおすし」を覚えましょう

- い 知らない人にはついていかない
- か 知らない人の車にはのらない
- お おおごえを出す
- す すぐ逃げる
- し 大人にしらせる

いかない のらない



おおごえでせけが すぐにげる しらせる



夏は、留守の家を狙った空き巣や夏休み中の子どもを狙った事件・犯罪が多くなるため、注意が必要です。また、子どもたちは夏休みとなり、普段よりインターネットに触れる機会が多くなるため、インターネットでのトラブルにも注意する必要があります。

◆子どもを犯罪から守るために！全国的に子どもをねらった犯罪が増加傾向にあります。高山市でも、今年度に入り、児童に対して携帯電話のカメラを向ける事案や、路上で刃物をちらつかせる事案、路上で下半身を露出する事案などが発生しています。不審者を目撃したら110番通報をお願いします。

◆スマートフォンやSNSの利用に気をつけよう！インターネットはとても便利ですが、近年は詐欺の手口が複雑化しています。家庭でスマートフォンやSNSの使い方を話し合います。消費者トラブルに巻き込まれた場合は、市消費生活センター（☎35-2030または☎188）までご相談ください。

問合せ 協働推進課  
☎35-33412

# シリーズ Q ゴみ

## 「もったいない...」をなくしましょう 「食品ロス」について考えてみませんか？

食品ロスとは？

まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことを「食品ロス」といいます。

世界では、食糧生産量の1/3にあたる約13億トンもの食糧が毎年廃棄されています。日本でも1年間に約612万トンの食糧が捨てられており、これは東京ドーム5杯分とほぼ同じ量です。お茶碗1杯分のごはんを全国民が毎日捨てているのと同じ量です。

なぜこのようなことが起きているのでしょうか。理由の一つは、スーパーでの売れ残りや返品、飲食店での食べ残しといった事業での食品ロス（約328万トン）です。また、家庭での料理の作り過ぎによる食べ残しや、買ったのに使わずに捨ててしまいう食料といった家庭での食品ロス（約284万トン）も深刻です。

一人ひとりが「もったいない」という気持ちと、地球環境を守るという気持ちを大切に、食品ロスの削減に取り組んでいきましょう。

どのように  
防いだらよいの？

事業者は…

- ・適量の仕入れ
- ・タイムセールなどによる商品の売り切り
- ・商品棚の手前にある商品を選んで購入するように呼びかけ
- ・ばら売りや量り売りを行う
- ・小盛メニューや食べ切りメニューを提供
- ・食べ残しの持ち帰りができる工夫

家庭では…

- ・買い物前に冷蔵庫の中身を確認
- ・必要なもののみ購入
- ・ばら売りや量り売りの利用
- ・商品棚の手前にある商品を選んで購入

問合せ 生活環境課

☎35-33138



ごみ分別アプリ「さんあ〜る」をご利用ください。

